

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第 14 号

平成30年10月24日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

吹奏楽部ありがとう 県大会は銀賞



吹奏楽の県大会にあたる福島県下小・中学校音楽祭（第2部 合奏）は、10月5日（金）けんしん郡山文化センターで行われました。本校吹奏楽部は銀賞となり、悲願の上位大会進出はかありませんでした。審査員の先生の言った「福島県はレベルが高い。」その言葉に納得です。

学校を出発するとき、「曲の弾き始めから弾き終わりまで自分たちの演奏を楽しんでください。おっ、今私はいい音を出してるぞ。おっ、隣の人、

隣のパートと気持ちよく音が重なっているぞ。全体が調和して演奏がホールに響いているぞ。そういう感覚を楽しんでください。」と言葉をかけました。これは、岩瀬地区音楽祭の時と同じです。今回は、「今日のコンクールに向けて、『泣いても笑っても』という思いで練習してきたことと思います。今日は、そのすべてを出し切ってください。」と付け加えました。皆、真剣な目でうなずいていました。

閉会式も終了し、祈るようにして結果発表を聞いていた生徒たちの姿をまぶたに浮かべ、かける言葉を探しながら学校に戻りました。帰ってきた部員たちの待つ音楽室に行き、最初に出た言葉は「ありがとう」でした。そして、こんなふうに続けたのではないかと思います。

「特に地区音楽祭以降の、この2週間、自分のキャラクターが変わったかのように精一杯の努力をしてくれてありがとう。生徒と一つになって指導にあたってくれた顧問の先生方、ありがとうございました。そのことに心から感謝しています。

しかし、それでも銀賞だった、この現実を受け止めることからしか再出発はできないのではないかと思います。よい演奏を（できれば生で）聴いて、同じように演奏するにはどうすればいいのだろうとやってみて、上手な人からこんなふうに工夫しているという話を聞いて、よりよい音色を追求してください。」

この後の全校集会で、「少し前から『うちの子どもたちを見てください』と言っています。」と伝えました。スイッチを入れたのは、地区音楽祭以降の吹奏楽部の生徒たちだったのかも知れません。

合唱部混声チームは16年ぶりの全国大会出場

全日本合唱コンクール東北支部大会は、9月29日（土）宮城県多賀城市文化センターで行われました。女声の部が銀賞、混声の部で金賞を獲得し、本校としては16年ぶり4回目の全国大会出場を決めました。

「ここからここへ」をモットーに、聴いている人の心に届く合唱を目指し、この日も「納得のいく演奏」を目標にステージに向かいました。混声の部の発表を終えてホールの前に出てきた時点での生徒たちの表情、そして感動のあまりハンカチで目を押さえていた保護者の方々の姿がとても印象的でした。

翌日、職員室で結果の報告を受けたとき、こう言いました。

「皆さんの演奏は聴いている人の心に確かに届く素晴らしいものでした。それは、日常の授業に支えられているのだと思います。特に、日々の音楽の授業の充実が皆さんの高い演奏レベルにつながっているのだと思います。そういう意味で、学級、学年の仲間とこの喜びを分かち合ってください。」

これは、私の確かな実感です。「歌声の二中」の土台は授業にあると言っていると思います。

なお、全国大会に関する情報は、この裏面に掲載していますので、合わせてご覧ください。



豪州研修に本校から2名参加 国際理解や英語への関心高まる

8回目になる須賀川市青少年健全育成海外派遣事業に、今年は本校から大山奈々花さんと関祥之介くん（ともに3年生）の2名が参加しました。



8月1日（水）から8月8日（水）までの8日間、オーストラリアのケアンズ周辺で、現地の学校との交流やホームステイ、世界自然遺産研修を行ったもので、9月24日（月）市役所で報告会が行われました。

大山さんは全体の司会進行を務め、自身も得意の習字を活かして現地の学生や家族と文化交流をした経験を報告し、実践的英語力を高めたいという意欲を語りました。また、関くんはホストファミリーにごま味・醤油味、2種類の和食を振る舞い、親密感が増し、別れの時にはジャックくんという幼児に泣かれたそうです。

私と一緒に報告会に参加した構教諭も、盛んに写真を撮りながら、この経験を通して二人が成長したことを喜んでいました。



より実践的な防災能力が必要 基本は、オ、カ、シ、モ、チ

10月1日（月）の午後、地震を想定した避難訓練を実施しました。グランドがぬかるんでいたので、体育館に避難・誘導を行いました。

講師の消防署員の方からは、「避難中、にやにやしている生徒がいました。」という指摘を受けました。なるほど、この記事を書くためにそのときの写真を見てみると、確かに写っています。中にはカメラに向かってV（ピース）サインをしている生徒もいます。「訓練でできないことは、実際の場面でもできない。」これは自明の理ですから、厳しく諫めなければなりません。

また、生徒のほとんどが、避難の基本である「オ、カ、シ、モ」を覚えていました。今後は「チ」を加えて、「オ、カ、シ、モ、チ」で覚えてくださいと指導がありました。すなわち、



オ：押さない
カ：駆けない
シ：しゃべらない
モ：戻らない
チ：近づかない

です。このことは、ご家族みんなで確認してお

くとよいのではないのでしょうか。

今回は、担任の授業時間に、予告と事前指導を行ったうえで実施しました。今後はより実践的な方法も取り入れることを検討しています。

合唱コンクール全国大会ライブビューイングのお知らせ

10月27日（土）、28日（日）に長野市のホクト文化ホール（長野県県民文化会館）で開催される全日本合唱コンクール全国大会に、本校合唱部混声チームが出演します。この模様を映画館のスクリーンで中継するライブビューイングの案内が主催者から来ましたので、取り急ぎお知らせします。

概要は次のとおりです。

本校の上映日程

最寄りの上映劇場：イオンシネマ福島

日時：10月28日（日）11：30～14：05の回（中学混声②）

参考事項

(1) 内容 中学校39団体を5つの演奏時間帯に分けて上映。合唱演奏の他、結果発表・表彰式も中継します。

(2) 料金 一般2,300円 高校生以下1,000円

(3) 公式サイト：<http://gaga.ne.jp/gassho-live/>（「合唱ライブビューイング」で検索）

本校合唱部を応援したい、全国レベルの合唱演奏を聴いてみたい。でも、現地まで行くのは無理という方に、参考まで。

この学校だよりは、本校HPからもご覧いただけます。